

## 療育研修会

北海道地方 本部

◆テーマ 筋ジストロフィー患者への学校の取り組み 講師 池田 哲也

八雲養護学校は八雲病院が併設されていることから筋ジストロフィー患者の生徒である。

筋ジスであることから障害が重度であるが、重度であってもより普通校の生徒と変わら

学力を目指して補習を行っていたり、プール学習を取り入れたり、卒後に地域生活

を行う上で必要なヘルパーの使い方を文科省のモデル事業で事業所のヘルパーと一緒に

外出するなどの取り組みを行っている。

近隣に通所施設等がないことから卒後には院内に” コレスペ” という就労する場を設け

企業の仕事を請け負ったりしている。

◆テーマ 障がい児への介助実技研修 講師 川口 雅紀

障がい児者に関わらず気をつけなければならないのは利用者を理解することである。

1口に理解といってもいろいろあるが、介助においてはまず身体状況を把握する必要が

ある。同じ病気でもそれぞれみんな違うため、水分補給や食事介助、移乗介助等が異な

る。本人の意向に沿い身体に出来るだけ負担のかからない介助を行うことが必要である。

# 療育研修会実施状況 北海道支部

参加数

15

テーマ： ◆筋ジストロフィー患者への学校の取り組み  
◆障がい児への介助実技研修

講師： 養護学校教諭 池田 哲也 ヘルパー 川口 雅紀

実施場所： ホテルニセコいこいの村

## 研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

障がいがあるからといって特別ではない。障がいがあるからといって大学へ行けないこ

とはない。学校の実践を聞いていて共感を覚えた。

自分にできることがあれば学校の取り組みに協力していきたい。

---

---

---

---

テーマ： ◆筋ジストロフィー患者への学校の取り組み  
◆障がい児への介助実技研修

講師： 養護学校教諭 池田 哲也 ヘルパー 川口 雅紀

実施場所： ホテルニセコいこいの村

## 研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

療育研修に参加されていたお子さんに親の承諾へ得て水分補給をしました。

1口に口に含む水分量が分からないためとても慎重になりました。利用者の身体状況を

把握していない介助はとても不安がありました。

---

---

---